

## 浦上キリシタン流配150年(2018~23)

## ニュースレター



## 11月3日 岡山の「鶴島巡礼」も非公開で！

流配150年を迎えた今年、非公開となった春の「乙女峠まつり」に続き、流配地鶴島への巡礼も中止となり、関係者だけで野外ミサを捧げた。

**鶴島の事前調査**／事前に文化財としての流配地を管理する備前市から、墓地の野獣(イノシシ)被害の情報が寄せられ、教会として意見を述べるため、市の文化財担当の方達と共に10月8日島を訪れた。当日は雨の中を数人で鶴島に渡った。墓地は花筒が殆ど散乱、大きな石が幾つもの移動し、穴も掘られていたが、大した被害なく一安心。来年度の巡礼に向けて、文化財(墓地)の保全に市の取組として何らかの作業(工事)を考えて頂けそうです。島の買取にも市は意欲を見せており、流配地鶴島を大切に毎年巡礼する私たちにとって心強いことです。



鶴島に渡り墓地まで  
ロザリオを唱えながら

**少数での野外ミサ**／前日と打って変わった晴れやかな秋の景色の中で、いつものように大勢の方々と一緒にここに眠る方々のためにミサを捧げたかったのにと、多少の残念な思いを抱きながら、岡山教会の服部神父、アルベルト神父お二人の司式のもと、岡山教会の巡礼行事関係者15人で野外ミサに与った。このミサは予定では鶴島流配150年記念として盛大に行う予定であった。

服部神父は「この良い天気の中で、ミサを捧げることが出来ることを感謝します。久しぶりに歌も歌い、こうして花も活けられ、また違う雰囲気の鶴島と思います。少人数ですが、原点に立ち返り私たちも何を考えていかなくはないかと思ひながら、このミサを捧げたいと思ひます」と言われ、ミサを始められた。

説教の中で服部神父は津和野の流配に触れ次の様に話された。「乙女峠友の会の機関紙(せせらぎ)の最近号の記事です。今年は乙女峠まつり(5/3)も非公開でした。信徒会長の方が乙女峠まつりの原点を感じたこととして次のように書かれています。『ミサの途中、この乙女峠まつりを始められた岡崎祐次郎(パウロ・ネーベル)神父のことを思い、原点に立ち返った清々しい気持ちになりました。ホルバート神父、フリン神父、木村神父それぞれの時点での偉業も思い出されました。そして私が受洗時に先輩信徒から教わったことを思い起こしていました。それは乙女峠まつりのまつりを漢字にしない理由でした。それぞれの本には乙女峠での出来事が記されているが、可哀そうとして見てはいけません。それだと慰霊の意味が深くなる。そうではなくて、死をも乗り越えて現代の我々に何をもたらしてくれたのかを、考えて欲しいということでした。信教の自由、家庭への教育の大切さをもたらしてくれたのだと感じ取ってほしい故に(ひらかなの)まつりとし、敢えて漢字としないのだと教えられた。慰霊

ではなく、感謝のまつりだということです。』このように書かれています。まさにこの方たちは大変だった中で、その生き方をどのように私たちが次に伝えていくのか、ということが大切だと思います。

・今日の福音(マタイ 5・38～42/目には目を…)は、キリスト者として良く言われるものかとか、これが真のキリスト者ならとても大変です。私たちは何をこれから学ぶのかと言えば、敵を作ってはいけないわけではなく、敵にどのように対応するのか、対決の必要な場合もあるし受止める場合もある、無視するとかでは無くて関わりを持ち続けなくてはならないというのが、この福音の大事な点だと思います。そしてこの様な生き方が出来ないと思



マスク姿で距離を取りつつ、久しぶりの聖歌歌唱

っている私たちですが、実はここで亡くなった方々は皆、これを受けたのですね。右の頬を打たれ、左の頬を出して連れていかれた方ばかりです。これを生き抜いた人がここに眠っている方々と思います。私たちがそこから何を学ぶかというのが大切だと思います。私もこの様な生き方は出来ないと思っていますが、いざという時には彼らがしたことが、如何に次に伝わり、そこに大きな意味があるということを実際に考えるべき出来事ではないかと思

私たちはこの場所(原点)に来ています。どうかそれを大事にし次に伝えていきながら、このことをしっかり受け入れられるよう考えていきたいと思

来年への期待を込めて/今年も行きたいとの参加ご希望も寄せられていましたが、御時勢の中での通常開催は断念せざるを得ませんでした。せめてものとの思いで、当日の説教と鶴島の最近の様子を少しお伝えしました。来年もオリンピックの関係で多分11月3日開催になると思います。通常開催が出来れば、今年行う予定だった「鶴島流配150年記念」を一年遅れではありますが盛大に開催出来ればと思っています。

……岡山教会殉教者・巡礼地顕彰委員会

## 津和野証し人の列福を願い、祝賀に向けて

### 教会を改修…安全祈願祭 10月4日

この度、津和野証し人37人の方々が列福されることを願い、それにふさわしい教会として祝賀の日を迎えようと、津和野教会聖堂の改修工事が始まった。工事完成は来年の11月末の予定。来年の乙女峠まつりの5月は、まだ工事中の姿で迎えることとなりますが、今から1年後の完成を心待ちに、安全に工事が行われるよう皆でお祈りを致しましょう。



## お知らせ/2月の徒歩巡礼

浦上四番崩れ流配所をめぐる二つの市内巡礼は実施予定です。

参加予定の方は年明け以降、岡山教会・福山教会にお問合せ下さい。

2021年2月6日(土)岡山市内巡礼。7日(日)福山市内巡礼。